

KOFU21

Chartered 1990
甲府21ワイズメンズクラブ

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21



2025 年 12 月 06 日 (土) 発行

編集長 野々垣和宏

〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7
山梨YMCAGローバルコミュニティセンター

☎055-235-8543 fax055-235-8553 Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	エドワード・オン(シンガポール)	「信念、愛、行動」 (Faith, Love, Action)
アジア太平洋地域会長	田上 正(熊本むさし)	「信念と愛を持って行動しよう!」 (Act now with faith and love!)
東日本区理事	山下 真(十勝)	「ワイズのらしさ再発見」 (Rediscovering Y's Uniqueness)
あずさ部部長	山口 直樹 (東京武蔵野多摩)	「垣根を低くし、活発な活動を」
甲府21クラブ会長	水越 正高	「35周年で育む会員の絆と、青少年の未来を創るクラブへ」 (Connecting the Next Generation)

甲府21ワイズメンズクラブ

2025 年 12 月会報

今月の強調テーマ

キリスト教理解
IBC

今
月
の
聖
句

旧約聖書、イザヤ書、52 章 10 節

主はその聖なるかいなを、もろもろの国びとの前にあらわされた。地のすべての果は、われわれの神の救を見る。
岡牧師 (インマヌエル甲府教会)

12月 巻頭言



山中湖から撮影した富士山

「青少年の未来を創るクラブとして
歩んだ半年を振り返って」

甲府 21 ワイズメンズクラブ 会長 水越正高

気がつけば一年も折り返しを過ぎ、街には少しずつ冬の気配が漂い始めました。12 月は、私たちにとって活動の節目を迎える大切な時期です。この半年を振り返ると、あらためて「青少年の未来を創るクラブ」という今年度の主題を、全員で体現してきた時間だったと感じます。

特に 11 月は、私が入会して以来、最も忙しく、そして最も充実した一か月でした。毎週のようにワイズの活動が続き、慌ただしさを覚えることもありました。その一つひとつが青少年・ユースと直接関わる尊い時間でした。仲間と共に汗をかき、子どもたちと笑

い合い、時に励まし合いながら創り上げた日々は、私にとっても忘れられない経験となりました。

ベビーカーコンサートでは、小さな子どもたちが音楽に触れる貴重な文化体験の場となりました。泣き声も笑い声もすべてが音楽の一部となり、その光景は私たちが大切にしてきた「心と人を育てる活動」そのものでした。また、2 回目となる銀河鉄道の森でのデイキャンプも、多くの会員の皆さまの協力のもと、安全に、そして温かく実施することができました。ユースリーダーたちが導き、子どもたちが初めて出会う仲間と共に自然へ一歩踏み出す姿は、まさに私たちの事業の成果が形となった瞬間でした。

この 11 月を乗り越えられたのは、準備に奔走してくださった会員の皆さま、当日現場で支えてくださった皆さま、そして常に前向きに参加してくれるユースと子どもたちのおかげです。この場を借りて、心より感謝申し上げます。皆さまの力がなければ、今年度の CS 活動の多くは実現しませんでした。

そして 12 月は、次なる未来へのスタートでもあります。来年にはいよいよ 35 周年記念旅行が控えており、キャビネットでは準備を始めようとしております。これまでの半年間の苦楽を仲間と分かち合い、次の節目となる 40 周年へと続く歩みを、ここからさらに確かなものにしていきたいと思ひます。

季節は冬へ移り、空気は冷たくなりますが、人のつながりはあたたかくなる時期でもあります。どうか皆さま、お体に気をつけながら、今年最後の月を共に歩んでいきましょう。そして、笑顔でクリスマスと新年を迎えられますよう、心より願っております。

2025 年クリスマス例会プログラム

クリスマス例会プログラム 17 時～ 奏楽：杉田 博子ワイズ
「第 1 部礼拝」 司会：小澤智之

- ①前奏
- ②讃美歌
- ③聖書
- ④説教
- ⑤お祈り
- ⑥讃美歌
- ⑦ソプラノ独唱

インマヌエル甲府教会岡 信男 牧師

杉田 博子

「第 2 部 例会」

- ①開会点鐘
- ②ワイズソング/ワイズの信条
- ③会長挨拶
- ④ゲスト紹介
- ⑤ハッピーバースデー

司会：佐藤利之

メン：葉袋勝 平田耕司 餐場 裕 メネット：寺田岸子

- ⑥諸報告
- ⑦休憩五分

「第 3 部 祝会」

- ①感謝の祈祷
- ②乾杯
- ③食事と歓談のひと時
- ④お楽しみ抽選会
- ⑤★マジックショー
- ⑥YMCA の歌
- ⑦閉会点鐘

司会：佐藤利之
山縣譲治さん
荻野清次期会長

キャビネット
水野翔

水越正高

11 月第 1 例会報告

書記 佐藤 利之

- ・日時 2025 年 11 月 18 日（火）18：30～
- ・会場 山梨 YMCA 3F

2025 年 11 月の第一例会が山梨 YMCA 3 F で開催されました。

まずバザーの報告がありました。甲府 21 は過去 1 番の売り上げを記録でき YMCA にしっかり貢献できたと思います。

続いて今回のメインの打ち合わせである第 2 回子どもゆめ基金事業「銀河鉄道の森デイキャンプ」第 2 弾（2025 年 11 月 24 日実施）の打ち合わせがありました。

前回大変好評で 2 回目は早々にお申込み打ち切りとなるととてもうれしい結果でした。佐藤実行委員長からあらためて夢基金の意義を説明いただきました。また事務方より配置、役割分担について説明がありました。

最後にクリスマス例会の概要の説明をいただき年末を感じたのでした。

銀河鉄道の森デイキャンプ

第 1 回 2025 年 9 月 23 日（祝）

第 2 回 2025 年 11 月 24 日（振替）



はじまりの会



スモア実習



工作の材料バイキング



クラフトワークの時間

子ども夢基金からの助成金採択の活動

甲府 21 CS/Yサ委員長 佐藤重良

昨今の東日本区は高齢化が進みクラブ会員減少に歯止がかからず、クラブ活動の縮小も続いています。こんな中で甲府 21 クラブの事業活動として、外部の資金を獲得して ワイズの認知度向上と、世の中に少しでも貢献しよう「特に子ども達のために」ということで、子どもゆめ基金に助成金を申請しました。これは所沢クラブ 大沢和子さんに教えていただいた情報です。運よく採択されました(2025 年 4 月 1 日採択決定。23 万円が支給されます)その記録としてここに留めておきたく寄稿します。

<実施のコンセプト>車社会・スマホ社会から一次脱却・森で思いっきり遊び・自然の大切さを体験する。

場所：山梨 YMCA の整備中のキャンプ場「銀河鉄道の森」(山梨県韮崎市)

教育指導：講師として山梨 YMCA の皆さんと、ユースリーダー(大学生)の支援をいただきました。

<具体的内容>

1. 会場までは J R の電車を利用、切符を集団で乗車しました。そして新府駅からは徒歩 15 分を歩いて移動しました。・・・体験
2. 森の体験(木・植物の葉っぱや木の実などを集めて木の名前を知る。木の葉っぱは、なぜ秋には黄色になるその理由の勉強など)
3. 森の遊具体験・・・森の中にある遊具を使いお友達と思う存分遊ぶ、ブランコ・ターザンロープを使った遊び(公園や学校の他にはない遊具の体験等)
4. 焚火でスモアを食べること・・・普段は体験できない焚火の体験 ※これは実は参加者の小 6 からの提案で急遽実施をしたものです。マシュマロをたき火で炙って食べる体験は大人気でした。
5. なるべく省力。昼食は市販のお弁当とメネットさん手作りの豚汁(アレルギーの事前調査した対応)。第 1 回はカレーで大好評でした。
6. 工作はクリスマスのリース作り・材料はワイズが自然から拾い集めたものに加え、岩窪の近所の方からユーカリの枝葉をたくさん頂きました。
7. プログラム作成・運営・実施には山梨 YMCA の皆さんから指導いただきました。菊池さん、田草川さん、平賀さん。そして YMCA のユースリーダーさん達。また 11 月では工作の講師 3 人に来て頂き、細やかな指導をおこなって頂きました。
8. 当日甲府駅、韮崎銀河鉄道の森でお手伝い頂いたワイズの皆さん。その準備の段階からチラシ作成、ホームページ作成をしてくださったブリテン委員長、記録用の映像を撮影してくださった小澤智之さん。リボンを作ってくださった赤根さん。本当に大勢の方のおかげさまで、実施できたこと深く感謝しております。

最後に～当初はこのようなプログラムに参加してくれる人がいるのだろうか。お申込が 5 人しかいなかったらどうしよう、と心配していましたが、フタを開けてみたら 25 人の募集(保護者含む)に対して 9 月 23 日は 32 名、11 月 24 日は 41 名が参加してくださったことで、ああ正解だったとホッとしているところでもあります。ありがとうございました。

<アンケートは別添します>

<12 月の誕生者>

<敬称略>

<メ>

葉袋 勝 12/15 饗場 裕 12/20

平田耕治 12/24

<メネット>

寺田 岸子 12/7



11 月会計報告

会計 山口 了

[会計報告]

2025 年 10 月末現在



項目	ニコニコ	バザー	トータル
目標値	250,000	100,000	350,000
11月の合計	20,739	100,000	120,739
11月末迄累計	117,579	100000	217,579
達成率	47.0%	100%	62.2%

<11 月例会出席者>



今後の予定

12月16日(火)第2例会 18時半

1月10日(土)在山梨4クラブ合同例会
11:00~14:00 魚吉会館(富士吉田市)

1月12日(月・祝)お正月を遊ぼう

1月20日(火)第2例会 18時半

第 8 回ベビーカーコンサート

2025 年 11 月 15 日（土）午前 11：00～11：55 演奏：パルフェのみなさん
 来場者：68 名（オリーブの木利用者含む） 会場：山梨 YMCA3 階 ベテル 入場：無料
 実行委員長：寺田喜長



晴天に恵まれた 2025 年 11 月 15 日（土）、第 8 回ベビーカーコンサートを開催いたしました。今回も「音楽アンサンブル パルフェ」の皆様にご協力頂き、楽しいひと時を持つことが出来ました。ピアノ、フルート、キーボードなどの楽器の他に、大小のビンや並べた手作りの楽器での演奏、トーンチャイムや小さなハンドベルを音階別に来場者に担当して頂き全員での合奏、軽快なディズニーマーチに乗って子供たちの行進等全員参加の演奏会でした。21 組の申し込みを頂きましたが来場されたのは 19 組 58 名とオリーブの木関係者 5 名、ワイズメンバー 15 名、メネット有 4 名、ボランティア 1 名、計 83 名でした。来場いただいた方々には会場を華やかに彩りました生花を一輪ずつお渡ししました。アンケート集計はまだできていせんが、以前来場された方々へのメール、友人知人の紹介により応募された方が多く、チラシ、情報誌、パルフェメンバーの門下生等が応募されました。YMCA、ワイズメンズクラブの知名度は以前よりは増えてました。

大人な徘徊 第 6 話

ミャンマー (2016 年 9 月 15 日～ 26 日)



薬袋 勝



りませんでした。

このヤンゴンはすでにネトピーに首都を変えており、発展が期待されましたが、現在この国はまた軍政に戻ってしまい経済の低下傾向がみられ、早く平和な国に戻ることを祈っております。

歩行数：221,674 / 18,473 歩

歩行距離：165.0 / 13.8Km



王宮 (マンダレー)



古い寺院 (バガン)



朝の托鉢尼僧 (ヤンゴン)

子供のころ愛読した「ビルマの豎琴 (この著作は、ビルマ仏教：上座部仏教ではあり得ない内容のため、ミャンマーでは批判を受けている)」の国、軍政が解かれアウンサンスーチ氏が政界に復帰しており、経済の上昇機運が見られた頃の訪問でした。

マンダレーやバガンの清潔で静かな街並みや仏教遺跡と敬虔な仏教徒が印象的でした。

マンダレーでは、バイクの後ろに客を乗せるバイクタクシー (東南アジアではこれが便利) を利用し、狭い道を通り抜け時間を短縮する能率的な観光を楽しみました。マンダレーからバガンまでは、アクセスが悪くガイド付きタクシーを雇い「精霊ナツ信仰」の中心地ホッパ山経由の徘徊でした。到着したバガンでは、古い仏教寺院と林立するパゴダを JICA の協力による試験的な乗り降り自由なバスを利用しまわることが出来ました。

ヤンゴンでは、山手線みたいな環状線を利用したの徘徊、ついでにスーチー氏の監禁されていた家を探したのですが残念ながら見つか

ペンリレー

「高齢者の一断面」

松村 禎夫

ブリテン委員長の野々垣和宏さんに急に 12 月号のペンリレーをお願いされてしまいました。書くことも話すことも苦手な私に何が書けるかと、三日間悩みました。仕方がないので、つい先日幹事として実施した大学同窓会の経過と外出の難しさについて述べたいと思います。

1966 年卒業の理学部化学科同窓会はコロナ禍の前年である 2019 年以来開催しておりませんでした。そこで、頼まれもしないのに友人三人と幹事になって、住所のわかっている 32 名に同窓会の通知を出しました。その結果 24 名の方から応答があり、内 12 名の方から出席の返事があり、晩秋の小石川後楽園の中にある「涵徳亭」にて約 3 時間親しく歓談の時を 6 年ぶりに持てました。

それはそれでうれしいのですが、残念なことは、遺族の方から 2019 年以降 5 人の同窓生が御逝去されたとの報告があったことです。また、欠席の返事のあった 7 人の方のほとんどが、体調不良で外出が難しいとか、施設に入っている、とのことでした。又、出席との通知を戴いたのに、定刻になっても会場にお見えにならなかった方がお二人いました。そこでご自宅に電話したら、お一人の方はご自分で軽度認知障害（MCI）があると言っておられる方で、失念していたがこれから行くとの返事をいただき、約 40 分遅れて出席していただきました。もうお一人の方は当日は電話がつながらず翌日再度電話をしたら、飯田橋まで行ったが結局「涵徳亭」への道がわからずあきらめて帰った、とのことでした。

確かに、飯田橋には、JR 東日本：中央・総武線（各駅停車）、東京メトロ：東西線、東京メトロ：有楽町線、東京メトロ：南北線、都営地下鉄：大江戸線、と路線の異なる五つの駅があり、それが地下道で複雑に繋がっています。しかも地上への出口が幾つものあり高齢者にとってとても複雑です。私も、今回上京して「涵徳亭」にたどり着くのも、また、帰りのあずさに乗るまでも乗換がわからず大変苦労しました。

それはともかく、幸いにして集えた 11 名は、何とか再会できたことをお互い感謝し、出来たらまた来年も同じ場所で再会しようと言って別れました。

◆YMCA 便り◆

「つながり、深まる冬の光」

総主事 中田 純子

朝晩の冷え込みに冬の訪れを感じるこの季節、ワイズメンズクラブの皆様には、本年もパートナーとして多くの活動にご参画いただき、心から感謝申し上げます。

去る 11 月 3 日、第 65 回山梨 YMCA チャリティーバザーを無事盛会のうちに開催できました。新会館ホールや各フロアへ広がる売場、昨年度から復活した食堂やタレントショー、そして恒例の「びっくり市」など、誰もが思いをひとつに力を合わせて、地域に笑顔と賑わいを届けることができました。得られた収益は、障がい児支援や高齢者福祉、そして YMCA が取り組む“途切れのない居場所づくり”のために活用いたします。ご協力くださったすべての会員・ボランティア・関係団体の皆さまに、心より御礼申し上げます。

12 月 4 日には本館クリスマスツリー点灯式を行います。また、りんごの木でも利用者の皆さまと灯をともす予定です。保育園、放課後児童クラブ、放課後等デイサービス等、各事業でもクリスマス会が順次開催され、一人ひとりに希望の光が行き届くよう、心を込めてクリスマスを祝います。

各ワイズクラブでも、恒例のクリスマス例会が予定されています。特に甲府ワイズメンズクラブは、冬休み期間、放課後児童クラブや放課後等デイサービス、高齢者事業に「しめ縄飾り」作りを通して寄り添ってくださるなど、日本の伝統を次世代に手渡し、多世代の温かな交流を支えてくださっています。「誰もが大切にされている場」の実現は、皆さまのその一つひとつの働きを通して生まれています。

一年の終わりを迎え、皆さまと共に未来への希望の光をともせる恵みに、心から感謝いたします。どうかこの年末もご自愛のうえ、新しい年がワイズメンズクラブ・山梨 YMCA のつながりと温もりをより深める時となりますよう、心よりお祈りいたします。